

## 【参考】

### 1. 生物多様性 日本アワードの概要

#### (1) 目的

2010 年に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）に向けた「生物多様性の保全」及び「生物多様性の持続可能な利用」の推進

#### (2) 名称

「生物多様性 日本アワード」（英語名：Japan Awards for Biodiversity）

#### (3) 主催者

財団法人イオン環境財団、環境省（生物多様性 日本アワード 実行委員会）

#### (4) 顕彰の要件

国内における個人・団体による取組、もしくは国内に本拠地を置く個人・団体による海外における取組であって、「生物多様性の保全」又は「生物多様性の持続可能な利用」に顕著な貢献が認められること。

### 2. 部門

部門は、2つの領域（A「生物多様性の保全」、B「生物多様性の持続可能な利用」）と4つの分野（1「フィールド」、2「リサーチ」、3「プロダクト」、4「コミュニケーション」）から構成されます（別添資料3）。

それぞれの部門で最も優れた取組を、優秀賞として選出し、さらに8部門の優秀賞受賞者のうち、特に傑出した取組を、「生物多様性 日本アワード グランプリ」として選出します。

- 〔部門〕 1 A 「保全フィールド」  
1 B 「利用フィールド」  
2 A 「保全リサーチ」  
2 B 「利用リサーチ」  
3 A 「保全プロダクト」  
3 B 「利用プロダクト」  
4 A 「保全コミュニケーション」  
4 B 「利用コミュニケーション」

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性 日本アワード